

平成 2 7 年度

社会福祉法人 阿闍羅会

障害福祉サービス事業所

【生活介護事業】

【就労支援 B 型事業】

ワークキャンパス大鰐

事 業 報 告

平成 2 8 年 5 月 2 3 日

住 所：青森県南津軽郡大鰐町大字三ツ目内

字水沢出口 1 1 7 番 1

電 話：0 1 7 2 - 4 8 - 2 4 2 6

F A X：0 1 7 2 - 4 8 - 2 4 8 3

〈Ⅰ〉 支援内容	
1. 生活支援	
【生活介護・就労支援B型共通】	1
【生活介護】	1
2. 作業支援	
【就労継続支援B型】	2
(1) しいたけ事業	2
(2) 花・野菜事業	3
3. 保健支援	5
4. 余暇活動支援	
①行事等	8
②利用者会活動	9
・利用者会全体会	10
・行事委員会	10
・お茶委員会	10
・広報委員会	10
・美化委員会	10
〈Ⅱ〉 給食	11
〈Ⅲ〉 防災	12
〈Ⅳ〉 広報	13
〈Ⅴ〉 研修及び会議	
(1) 会議開催状況	15
(2) 研修参加状況	16
〈Ⅵ〉 苦情解決	18
〈Ⅶ〉 地域生活支援	19
〈Ⅷ〉 外商	20
〈Ⅸ〉 安全巡視（虐待防止委員会）	22

〈I〉 支援内容

生活支援【生活介護・就労継続支援B型 共通】

担当：中平恵美

日常生活に必要な、基本的な生活習慣の自立を目的とした。

自立性を養い、毎日の積み重ねによって望ましい習慣の形成や、社会生活の態度・性格の社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援を行った。

○支援内容

①基本的習慣の定着

あいさつ、時間を守る、排泄、生理の手当て、入浴、衣類の着脱、衣類の調整、洗濯、洗濯した衣類のたたみ方、歯磨き、手洗い、うがい、指手のアルコール消毒、食事とその後始末、整理整頓、掃除などの支援を行った。

②コミュニケーションを図るための支援

- ・言語と受容と表出に関する支援を行った。
- ・パニックに対する本人及び周りの利用者への理解に関する支援を行った。
- ・コミュニケーション手段の選択と活用に関する支援を行った。

③行動に支障がある利用者に対する支援

- ・精神面及び身体面に関する理解とそれに関する支援を行った。
- ・強度行動障害への理解とそれに関する支援を行った。
- ・自閉症に対する理解とそれに関する支援を行った。

④日常生活を送る為に安全な環境作りの支援

- ・奇数月に職員が安全巡視を行って危険な所を確認し改善した。
- ・作業場の整理整頓をし足場等に危険がないように配慮した。
- ・行事活動及び休憩時間等に怪我をしないように注意した。
- ・危険と思われる物（刃物、工具など）は職員室等で管理をした。

【生活介護】

担当：山中司、中畑幸、中平恵美

【年間作業収入398,067円】

○事業目的にあげるサービスを基にした内容のプログラムに沿って、生産活動、健康維持活動、余暇活動や同設される就労支援B型を利用されている方々との交流も大切にし、変化に富んだ楽しい時間を過ごしていただけるような工夫をし、個々のニーズに応じながら支援を行ってきた。次年度も利用者のニーズを伺いながら、利用者が楽しく喜びを感じていただき、利用者の尊敬を大切にし、可能性を引き出して自立を目指したい。

○利用者の体調・健康管理は毎月第1火曜日午後に医師の受診を実施した。医師の受診日以外は看護師によるバイタル測定を週2回実施し、体調の異変があった時はその都度対応してきた。次年度は今年度の反省点(バイタルを行う曜日や休んでいる利用者への配慮等)を含め、家族と医師とも連携しながら利用者の体調健康管理を徹底していく。

2. 作業支援

【就労継続支援B型】

担当：植田善久

平成27年度は一人当たりの工賃を平均月額10,000円を目指したが、平均9,095円となり残念ながら目標には届かなかった。昨年度よりは600円ほど上回っている。今年度も自主的な挨拶・時間の遵守を重点項目としたが、挨拶は出来る利用者としてでない利用者があり、自主的に出来ない利用者が多く見られたため、引き続き挨拶が出来るよう声がけしていきたい。時間遵守に関しては昨年度同様朝の会やお昼ご飯、帰りの会に出る時間が守れない利用者が何名かいた。昨年度以上に時間を守れる利用者としてでない利用者の差ははっきりと出てきたように思われる。次年度は、今まで以上にきちんと時間を守れるように声がけをしていきたい。

今年度は挨拶と時間遵守に加え、思いやりの心を持つことを重点項目に加えていきたい。利用者1人1人が仲間であり主役であること、常に助け合う精神を持つよう働きかけていきたい。

また、通院で休む利用者が増えてきた。通院時の様子を本人または家族に確認し、無理のない作業をしてもらい体に負担がかからないよう作業内容を考慮していきたい。

(1) しいたけ事業

担当：植田善久

【年間作業収入 10,153,851円】

栽培菌種	入荷菌床数	入荷時期	発生期間
北研73号	3000菌床(A)	平成27年3月	平成27年5月～平成27年11月
北研513号	5000菌床(D)	平成27年5月	平成27年9月～平成28年3月
北研607号	5000菌床(C)	平成27年6月	平成27年10月～平成28年4月
北研607号	4000菌床(B)	平成28年1月	平成28年3月～平成28年10月

平成27年度 発生菌床合計数 17000菌床

平成28年度 入荷菌床合計数 21000菌床

○内容及び次年度への課題

平成27年度のしいたけ売り上げ金額は、1菌床あたり597円と昨年度より4円ほど上回った。

今年度は4月から9月までは順調にしいたけの売り上げが伸びていた。さらにはとや製菓への納品の復活・翠明荘と新しく新規契約を結んだこと・リンクフーズから質の良いしいたけを今までより高い値段で納品してもらえるよう依頼されたことを受け、年間売り上げが1,100万を超えそうな勢いであったがDハウスの菌床玉がカビの被害を受け、それが隣のCハウスにも移ってしまい、お客様に出せるしいたけが激減し下半期は惨憺たる結果となってしまった。お客様からの注文も断ることが多く、1,000万はかろうじて超えたものの尻すぼみとなってしまった。カビの原因は不明だが今年度は衛生面に特に気をつけ、ハウス内の風通しを良くすることで品質の良いしいたけを数多く収穫できるようにしたい。また、サンマッシュの全国大会に今年度も出品したが、今年度も銅賞・奨励賞にとどまってしまったため次年度こそ金賞めざし頑張りたい。次年度は新しくハウスを増設することが会議で決まっており、そのために業者の話を聞きながら利用者が作業しやすいハウスを建設したいと思う。

次年度も引き続き近隣へこまめにしいたけを販売し、販路の拡大を図りたい。しいたけが大量に収穫したときに販売できる得意先を見つけ、もっと収入が上がるように頑張りたい。

(2) 花・野菜事業

担当：中畑 幸

【年間作業収入 365,303円】 ※いとく分の収入は、しいたけ事業に含まれています。

・野菜事業：オクラ	
ワニカム	67,727円
いとく	113,934円
弘果	7,212円
<u>一般売り〈大病、外商含む〉</u>	<u>82,710円</u>
合計	271,583円
・蔵館小学校・広野バッテリーセンター花壇耕耘及び定植。	
広野バッテリーセンター	36,000円
大鰐中学校	10,500円
<u>弘前豊学校</u>	<u>15,000円</u>
小計	61,500円
・つつじ祭り・一般販売	
つつじ祭り	16,240円
<u>一般売り</u>	<u>15,980円</u>
小計	32,220円
花・野菜合計	365,303円

○内容及び次年度への課題

オクラ：今年度収穫量は284.4kgであった。

収穫量減少の要因として定植時期が1週間ほど遅れたこと、また、約140本が仕入れ先の事情により7月に入ってから定植となった為、生育にバラツキが見られたことと、また、寒くなるのが早かったと思われる。

28年度はオクラは露地栽培で行う予定のため、収穫量・収入は減る見込みである。

花：蔵館小学校への花壇定植がなくなった他は例年通り行っている。

つつじ祭りの販売数はワークランド茜さんとの兼ね合いもあり、売れる商品は決まっているため、28年度は仕入れに工夫をしたい。

施設内の花壇も充実させていきたい。

【保健支援】

担当：中平恵美・木田繁子

①保健指導年間実施日

- ・定期健康診断（小山内医院で実施）

5 / 1 1 ~ 5 / 2 5 ・ 1 1 / 4

- ・身体測定（体温・血圧・体重）

4 / 2 4 ・ 5 月なし ・ 6 / 1 8 ・ 7 / 9 ・ 8 / 6

9 / 7 ・ 1 0 / 8 ・ 1 1 月なし ・ 1 2 / 1 5 ・ 1 / 1 9

2 / 9 ・ 3 / 3 1

- ・平成28年1月から生活介護利用者対象で、毎月第1火曜日の午後に小山内先生の回診を実施している。

②保健日誌からのまとめと次年度の課題・方向付け

○事故や怪我などなかった。作業中の怪我を防止するためにも、作業場を含む周辺の整理整頓をし、危険がないよう安全な環境作りと支援をしていく。また、利用者の多くは、不調を訴えたり、健康に気を配ることや衣類調整が苦手なので、利用者からの細かなサインや変化を見逃さず早く気付いて、怪我や病気を未然に防げるよう支援していく。

○7月中旬から9月上旬まで、熱中症予防対策として利用者全員にクールネックとペットボトル1本を用意し、こまめに水分補給と適度な休憩を取りながら作業を行った。その結果、熱中症や体調不良者はいなかった。今後も利用者の様子を注意深く観察しながら、熱中症予防していく。

○利用者・職員全員に手洗い、うがい、手指のアルコール消毒を徹底し感染症予防に努めた。また、インフルエンザやノロウイルスが流行する前に自宅からのマスクの装着を呼び掛けて、みんなでインフルエンザの予防に努めた。その結果、施設内でのインフルエンザ感染者はいなかった。インフルエンザ感染対策として、感染予防のためインフルエンザ流行の前にインフルエンザワクチン接種の呼び掛けをし重症化を防ぐ。流行時期には流行状況を把握しておく。喉の傷み、鼻水、咳、発熱など体調に変化があった場合には、家族の方と連絡を密にして、インフルエンザ感染を未然に防ぐ事に努めていく。

○毎週水曜日(男子)・火曜日と木曜日(女子)生活介護利用者の入浴を実施している。状況に応じて生活介護利用者以外でも入浴を開放している。入浴した後は洗濯指導支援も行っている。自分の衣類を洗濯、干す、たたむ事を指導支援して本人の自立へと繋げている。今後も状況を見ながら、生活介護の方以外も危険のないよう入浴を行い、洗濯指導支援を継続していく。また、入浴は利用者の健康維持、清潔保持を目的とするだけでなく身体の異常の発見にも繋がることもある。入浴時は身体の観察なども行っていく。

入浴の目的は様々あり利用者の障害に応じて、危険がないよう安全な方法で気持ち良く入浴支援を行っていく。

○5月に女子利用者5名の方が大鰐町の婦人科健診を実施している。婦人科健診の結果は異常なかった。病気など未然に防ぐためにも、健診や適度な運動や食事の取り方について、家族や医師、キャンパスの看護師や栄養士と連携を密にしながら指導し、体調管理に留意していく。

○12月から毎月第1火曜日の午後1時より、小山内医院の先生がキャンパスに来所して、生活介護利用者対象に回診が行われている。他の利用者については本人から希望があった時は診察を行っている。利用者の多くは不調を上手く訴える事が出来ない方もいる。先生の回診で、不調を早期に発見し対応出来るようにしていきたい。

③利用者の健康状態について

○小山内良子利用者

昨年2月に乳がんの末期と診断され、弘前中央病院で放射線治療を行い、和徳健生病院に月1回受診してゾンデの点滴とホルモン剤服用の治療を行っている。医師からは骨にも転移して骨がもろくなっていて転倒や怪我に注意するよう助言があり、本人の様子を注意深く観察している。また、本人に身体の事を話し理解した上で、一人での散布や外出を控えている。身体の痛みは4月は頻繁に背部の痛みを訴えて、痛み止めを服用していたが、それ以降は痛みの訴えなく毎日穏やかに過ごしている。今後も本人のニーズを確認しながら出来るだけ身体に負担を掛けず、本人が楽しく安心して生活出来るよう支援していきたい。

○秋田敬一利用者

8月頃から左膝の痛みを頻回に訴えるようになった。家族の方に連絡し、整形外科受診している。結果、膝の軟骨が磨り減っている来ているとの事で、ヒアルロン酸を注入して様子を観ている。ヒアルロン酸を注入してからは痛みの訴えは減ってきたようです。それと同時に本人は膝の筋肉トレーニングだと言って、膝に負担がないよう軽運動するようになった。今後も注意深く様子をみていきたい。

○工藤有貴利用者

10月に朝の送迎車両で多量の嘔吐をした。その日は日中キャンパスでも何度か嘔吐していた。家族に連絡して自宅へ帰宅。すぐ病院へ受診し胃腸炎と診断され、何日かキャンパスを休んで自宅で静養。その際、他利用者への感染等はなかった。嘔吐や下痢などあった時は速やかに嘔吐物等を処理し消毒など行う。また、施設内の掃除や消毒などをこまめに行い衛生管理を徹底していく。その他、目の不調や皮膚の炎症など、今まで以上に体の不調が続いている。その際は家族に連絡をして通院や自宅療養しながら対応している。今後も不調が見られた時は、すぐ家族に連絡をして対応していく。

○古川博之利用者

12月4日に愛成会病院へ定期受診し、糖尿病であるとの診断を受ける。この時の体重は130kgを超えて減量を目的として12月入院する。入院してから体重に変化が見られている。家族から退院後は入所施設を希望している。相談事業所ビリーブで入所施設を探したところ、三和の里に入所が決まり、3/12でキャンパス退所となる。

○赤平良彦利用者

12月に入って腰痛を訴えて弘前記念病院で検査する。結果、後縦靭帯硬化症と診断。肥満や糖尿病の方に多く見られる難病と言われる病気で、痛み止めを服用して様子を見る。悪化するようであれば手術をしなければならいとの事だった。自宅療養して様子を観たが痛みは軽減されず腰の神経にブロック注射を施行した。それでも痛みは軽減されず1/19手術実施。以降、服薬とリハビリで経過観察し2/11退院。その後、通院しながら自宅療養している。今後の通所については、本人・家族・相談支援事業所・施設担当職員で3月中にカンファレンスを実施して検討する。復帰後は本人の体調を注意深く観察しながら、慎重に作業を進めていく。

4. 余暇活動支援

①行事等

実施日	行事名	実施場所
平成27年4月11日(土)	三者面談	ワークキャンパス大鰐
5月2日(土)	体験学習	黒石伝承工芸館・こけし館
5月16日(土)	調理学習	ワークキャンパス大鰐
5月30日(土)	茶白山散策	大鰐町茶白山
6月20日(土)	ミニミニ運動会	ワークキャンパス大鰐
6月28日(日)	西地区レクリエーション	五所川原市営球場・菊丘運動園
7月11日(土)	焼き肉レク	ワークキャンパス大鰐
7月25日(土)	買い物レク	平川市 seria
8月8日(土)	流しそうめん	ワークキャンパス大鰐
8月30日(日)	青森県障害者スポーツ大会	青森県総合陸上競技場
9月13日(土)	ワークまつり	ワークキャンパス大鰐
9月19日(土)	ボウリング大会	Vボウル・地域交流センター
9月26日(土)	遠足レク	白神山地ビジターセンター
10月10日(土)	三者面談	ワークキャンパス大鰐
10月24日(土)	社会見学	弘前環境整備センター
11月7日(土)	保護者・利用者・職員交流会	六カ所原燃PRセンター・スパハウスろっかぼっか
11月28日(土)	カラオケ	カラオケ合衆国
12月12日(土)	利用者忘年会	津軽おのえ温泉 福家
12月26日(土)	外食	スタミナー番
平成28年1月16日(土)	お楽しみ新年会	ワークキャンパス大鰐
1月30日(土)	温泉レク	地域交流センター
2月27日(土)	鍋	ワークキャンパス大鰐
3月12日(土)	調理学習	ワークキャンパス大鰐
3月26日(土)	電車に乗ってGo	大鰐温泉駅・弘前駅アプリーズ

○ソフトボール

担当：植田善久、飛嶋治輝

実施日	行事名	実施場所
5月16日(土)	練習	広野バッティングセンター
6月20日(土)	練習	森山河川敷グラウンド

・次年度への課題・方向付け

今年度は西地区レクリエーション大会当日が雨の為、実施はしたが途中で終了し施設へ戻った、雨の中ソフトを行ったので、利用者の体調が心配された。今後このような時は体調を考慮し棄権する事も視野に入れていこうと思った。

②利用者会活動

・利用者会全体会

担当：植田善久

実施日	主な内容
平成27年 4月 2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・チョコレート作りの感想 ・クッキー作りの感想 ・三者面談について ・2月3月頑張った人
6月 1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・三者面談の感想 ・ソフトボール・レクについて ・西レクについて ・4月5月頑張った人
8月 3日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール・ミニミニ運動会の感想 ・焼き肉の感想 ・買い物の感想 ・西レクの感想 ・ワークまつりについて ・6月7月頑張った人
10月 1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・流しそうめんの感想 ・県スポの感想 ・ワークまつりの感想 ・ボーリングの感想 ・遠足の感想 ・三者面談について ・8月9月頑張った人
12月 1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・三者面談の感想 ・社会見学の感想 ・親子交流会の感想 ・カラオケの感想 ・忘年会について ・10月11月頑張った人
平成28年 2月 4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・忘年会の感想 ・外食の感想 ・温泉レクの感想 ・新年会の感想 ・チョコ作りについて ・12月1月頑張った人

○行事委員会

担当：中畑 幸

- ・平成26年 4月 4日（月） 12：30～12：40 委員会発足会議
 - ・平成26年 7月 7日（火） 12：30～12：40 遠足・忘年会行き先会議
 - ・平成26年 8月18日（火） 12：30～12：40 今後の行事の行き先会議
 - ・平成26年11月10日（木） 15：10～15：30 忘年会進行担当決め
- ・忘年会当日はそれぞれの役割をきちんとこなし、司会進行たビンゴゲームをスムーズに運営していた。また、行きたい場所などの意見をきちんと言えることが出来ていた。行事委員会を通して協調性や責任感を養った。

○お茶委員会

担当：中平恵美

- ・毎月第3週目に委員会で、次月のおやつを話し合い計画した。
- ・1月・2月には、お茶委員会で計画したおやつを買い出しに行った。みんなで協力して買い物する事が出来た。
- ・毎日のお茶委員会の仕事として、お茶出しと片付けを委員同士で協力して仕事をする事により協調性を養うことが出来た。

○広報委員会

担当：中平恵美

- ・毎月月末に広報委員会を開催し、次月の行事と作業予定を記載と掲示した。
- ・掲示物の張り替え等を行った。

（広報委員会活動時間 12：30～12：50）

○ 美化委員会

担当：山中 司

- ・委員会の活動を通して、責任感や協調性を養った。
- ・毎月1回、掃除強化場所を決め、計画を立て掲示した。
- ・プランター一定植後、曜日を決めて水やりを行った。（6月～10月）
- ・年3回、大掃除の日を決定し、大掃除を行った。

〈Ⅱ〉 給食

担当：山口美香

①平成27年度 給食指導 対象者 男 2名 女 5名 計 7名

指導内容	具体的指導方法	対象者
咀嚼・嚥下の補助	①主菜・副菜～刻み食。	女1名 男2名
糖尿病対策	①食事療法。	女1名
肥満対策	①主食の量を軽くする。 ②主菜・副菜～刻み食。	女2名
食事の補助	①フォークの使用。	女1名

※全体的に早食い傾向なので、全利用者に対してゆっくり食べるように声かけをしている。

②平成27年度 年間行事食実施表

月	行事	献立名	実施日	備考
7	七夕	冷やしうどん	7月 7日	
9	十五夜	栗ごはん	9月 16日	
10	いも煮会	米沢風いも煮	10月 6日	
12	冬至	かぼちやのいところ煮	12月 22日	
12	クリスマス	コーンライス、トマトクリームシチュー、カップムース	12月 25日	
3	ひなまつり	ちらし寿司	3月 3日	

③平成27年度 郷土食 年2回 実施。

④平成27年度 嗜好調査 3ヶ月に1回 計4回 実施。

⑤平成27年度 給食だより 3ヶ月に1回 計4回 発行。

まとめ・反省

- ・行事食の際は、季節感を感じながら楽しんで食べていたと思う。
- ・今年度も行事食・嗜好調査・給食だよりを充実させる事が出来たので、来年度も維持していきたい。
- ・今年度も新メニューを出すことができたので、来年度も利用者の楽しみになるようなメニューを出していきたい。
- ・郷土食を2回しか出すことができなかったので、来年度はもっと出していきたい。
- ・平成28年度も健康的で、利用者に喜ばれる給食作りをしていくということを大切にしていきたい。

〈Ⅲ〉 防災

防火管理者：植田善久

実施状況

月日	訓練状態	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	時間
5 / 2 1	部分訓練	14:15 ~ 14:30	地震	震度 5	駐車場	3分07秒
6 / 2	部分訓練	16:30 ~ 17:00	火災	居室 3	玄関前	1分52秒
7 / 8	部分訓練	18:30 ~ 19:00	火災	居室 1	玄関前	2分32秒
9 / 1 5	部分訓練	17:30 ~ 18:00	火災	トイレ	玄関前	1分46秒
1 0 / 8	総合訓練	10:00 ~ 10:15	火災	作業室 1	駐車場	3分21秒
2 / 1 5	部分訓練	18:00 ~ 18:30	火災	風呂場	玄関前	2分25秒
3 / 3	部分訓練	11:15 ~ 11:30	火災	女子トイレ	駐車場	2分41秒
<ul style="list-style-type: none"> ・ 点呼時返事を大きくするように（利用者） ・ おはしの徹底（押さない・走らない・しゃべらない） ・ 消化・誘導・放送の分担を明確にして責務を果たした。（職員） ・ 10月の総合訓練時、消火器を実際に使用して消火訓練を行なった。 						
<p>次年度への課題、方向付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員が消火器の取り扱い方を覚えるようにしたい。 ・ 放送機器の取り扱いと順序の再確認が必要。 ・ グループホームの火災報知器の取り扱い方の確認。 						

〈Ⅳ〉 広報

1. 広報誌「阿闍羅」

担当：佐藤直幸、田中大生

○内容

- ・第12号、第13号の発行

(内容) 第12号：施設長より、これからのショップ、しいたけ県知事賞報告、平成26年度決算報告、行事予定

第13号：職員研修について、ワークまつり、しいたけシール、新スタッフ紹介、行事報告(ショップ親子忘年会、親子交流会)、行事予定

- ・予定通り2回(6月・12月)の発行することが出来た。

○次年度への課題

平成27年度は、ショップをはじめとする職員研修に力を入れていることについて各所にアピールすることを主に考えての紙面作成をした。平成28年度としては、施設運営面と地域における様々な情報をホームページや Facebook との連携をした紙面を作っていきたい。

2. ホームページ

担当：中畑幸、田中大生

○内容

- ・ブログの更新(行事等の報告)

- ・広報誌「阿闍羅」の掲載(第12号、第13号)

- ・「社会福祉法人の運営に関する情報開示について」(厚労省等の通知)において、社会福祉法人の業務及び財務等に関する情報をインターネット等において公表するよう示されたことを踏まえ、以前からも財務三表を公表していましたが、これを無くし、「情報公開」のページを作りました。

- ・出店等のイベント告知(全国生産活動・就労支援部会職員研修会の障害福祉物産展へ出展・地域活性化フォーラムの報告)

- ・阿闍羅会フェイスブック活用(ホームページとのリンク)

○次年度への課題

県からの助成による車両購入に伴い、津軽地区障害者就労継続支援事業所共同受注窓口としてのサイト検索が出来るように整備する必要がある、早急に取り組む必要がある。また、ホームページを更新することができる職員が少なく十分なサイト運営が出来ていないことから、その育成のため研修会を行いたい。

阿闍羅会公式ホームページURL

<http://ajarakai.jp/>

阿闍羅会フェイスブックURL

<https://www.facebook.com/ajarakai>

3. その他の広報

担当：佐藤直幸

◇大鰐町民文化祭への参加

キャンパス・ショップともにレクの中で作品を作り、また一人一人から作品を提供していただいで展示している。

作品の数もあり、スペースをうまく使えたのではと思う。

また、40周年記念の大鰐町民文化祭に参加、記念式典にも参加している。



※文化祭作品展示の様子

◇地域の祭りなどへの参加

外商事業を中心にし、施設紹介も含め、生産物のアピール及び展示即売する形で参加した。また、当法人だけではなく、近隣の同様な施設の物についてもPR及び販売をしている。

参加状況

- ・大鰐温泉つつじまつり
- ・各種施設のまつり
- ・全国生産活動就労部会全国大会
- ・鰐 come 祭り
- ・まるごと大鰐商人市 など



〈V〉 研修及び会議

(1) 会議開催状況

①事業会議

担当：植田善久、竹内友紀

開催日	構成員	会議内容
3 / 19、4 / 16、5 / 28 6 / 25、7 / 23、8 / 20 9 / 17、10 / 22、11 / 19 12 / 17、1 / 21、2 / 18	阿闍羅会 全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事日程 ・ 作業予定 ・ 収支報告 ・ 職員体制について ・ 事業展開について など

②給食会議

担当：十川文乃

開催日	構成員	会議内容
3 / 19、4 / 16、5 / 28 6 / 25、7 / 23、8 / 20 9 / 17、10 / 22、11 / 19 12 / 17、1 / 21、2 / 18	阿闍羅会 全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食業務、内容の協議 ・ 思考調査の検討 ・ 調理、味付けの工夫等の検討 ・ 利用者給食指導の内容報告と検討

③ケース会議

担当：中平恵美

開催日	構成員	会議内容
4月23日(木)	全職員	めだかの会報告、支援計画、ケースファイル 他(4月ケース会議合同)
5月7日(木)		ケースカンファレンス、研修報告 他
6月10日(水)		ケースカンファレンス、支援計画、研修報告 他
7月2日(木)		ケースカンファレンス、養護学校中等部 施設・現場見学実施計画 他
8月6日(木)		ケースカンファレンス、ヒヤリハット報告について 他
9月2日(水)		めだかの会報告、モニタリング・支援計画書、個人別能力評価について 他
10月2日(金)		研修報告、ケースカンファレンス 他
11月6日(金)		めだかの会報告、ケースカンファレンス、 他
12月3日(木)		ケースカンファレンス、研修報告 他
1月7日(水)		めだかの会報告、ケースカンファレンス 他
2月4日(水)		ケースカンファレンス、三者面談について 他
3月3日(木)		個人別能力評価について 他

(2) 研修等参加（実施）状況

実施日	研修名	研修場所	参加者
5月28日	安全運転管理者講習	大鰐町総合 福祉センター	三上拓雄
6月19日	福祉と暮らしの勉強会 成年後見人・支援者を支える勉強会	弘前社会 福祉センター	中畑幸
6月29日～ 6月30日	全国知的障害者関係 施設長等会議	東京国際 フォーラム	佐藤直幸
7月8日～ 7月9日	サンマッシュ 夏期セミナー	秋田県大仙市 フォーシーズン	植田善久
7月14日	食の安全セミナー	青森県立保健大学	十川文乃
7月11日	自閉症支援実技トレーニングセンター	県民福祉プラザ 県民ホール	中畑幸
7月17日	福祉と暮らしの勉強会 成年後見人・支援者を支える勉強会	弘前社会 福祉センター	佐藤直幸・中畑幸
7月22日	サンマッシュ 夏期セミナー	平川市 唐竹多目的集会所	中畑幸
7月28日	ひろネット勉強会	弘前学習センター	佐藤直幸・中平恵美 中畑幸
7月28日	青森県障害者就労継続支援 事業所経営力向上委員会	県民福祉プラザ	植田善久
8月10日	青森県障害者就労継続支援 事業所経営力向上委員会	県民福祉プラザ	植田善久
9月3日～ 9月4日	青森県知的障害者 福祉協会職員研修会	弘前パークホテル	佐藤直幸
9月4日	青森県障害者就労継続支援 事業所経営力向上委員会	県民福祉プラザ	植田善久
9月11日	安全大会	クラウンパレス青森	山中司・三上拓雄
9月18日	福祉と暮らしの勉強会 成年後見人・支援者を支える勉強会	弘前社会 福祉センター	中畑幸
10月1日	青森県障害者就労継続支援 事業所経営力向上委員会	県民福祉プラザ	植田善久
10月5日	給食施設栄養管理 指導研修会	弘前市民会館	十川文乃

10月16日	福祉と暮らしの勉強会 成年後見人・支援者を支える勉強会	弘前社会 福祉センター	中畑幸
10月17日	オンブズマンネットワークセミナー	八戸プラザホテル	佐藤直幸
10月23日	合同公開セミナー	青森国際ホテル	佐藤直幸
11月20日	福祉と暮らしの勉強会 成年後見人・支援者を支える勉強会	弘前社会 福祉センター	中畑幸
12月18日	福祉と暮らしの勉強会 成年後見人・支援者を支える勉強会	弘前社会 福祉センター	中畑幸
2月2日 ～2月3日	サンマッシュ 生産協議会全国大会	東日本宇都宮	植田善久
2月6日	生産活動・就労支援 部会職員研修会	青森県労働福祉会館	佐藤直幸
2月19日	福祉と暮らしの勉強会 成年後見人・支援者を支える勉強会	弘前者会 福祉センター	中畑幸
2月25日 ～2月26日	北海道・東北地区 法人・農事組合 視察研修会	横手マッシュセンター	植田善久
3月29日 ～3月30日	北海道・東北地区 春季視察研修会	J Aいわて花巻 菌床仕込みセンター	植田善久

〈VI〉 苦情解決

○施設担当職員

苦情解決責任者 施設長 佐藤直幸
苦情受付担当者 支援課長 中平恵美

○訪問記録

訪問日	委員名	状況と問題点
4 / 2 0	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
5 / 2 4	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
6 / 1 5	村上、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
7 / 2 1	村上、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし
8 / 1 1	村上、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし
9 / 1 5	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
1 0 / 1 9	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
1 1 / 1 9	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
1 2 / 1 7	村上、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし
1 / 1 2	工藤、寺口	4名の利用者と面談 特に問題なし
2 / 1 5	村上、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし
3 / 1 4	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし

〈Ⅶ〉 地域生活支援

(1) グループホームすみれ荘

○住居 定員6名、現員6名（平成28年3月31日現在）

利用者内訳 （就労1名、就労継続支援B型5名）
（B判定6名）

○食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

○地域との関わり

町内の行事であるねぶた祭り、宵宮等に参加している。

温泉地であり公衆浴場を利用して住民との会話が増えている。

[内容及び次年度への課題]

- ① 世話人が研修に参加して、より質の高い支援を求めていく。
- ② バックアップ施設としても訪問回数を増やして入居者の現状を把握して、何でも相談しあえる環境を作っていきたい。
- ③ 利用を希望する人が増えてきているため、それに答えることが出来るようにしていきたい。

(2) グループホームあやめ

○住居 定員6名、現員6名（平成28年3月31日現在）

利用者内訳 （生活介護1名、就労継続支援B型5名）
（区分2：3名、区分4：2名、区分5：1名）

○食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

[内容及び次年度への課題]

- ① 世話人が研修に参加して、より質の高い支援を求めていく。
- ② 利用者の生活の安定をはかり、住みやすい環境を作っていく。

〈Ⅷ〉 外商

担当：中嶋綾子

がんばろう障害者元気ショップ事業の各施設との販売体制を継続する形で、協議会への参画の代わりに売買契約書を交わし進めている。しかし契約施設間の連携については施設によって協力体制に違いがあり全てに於いて連携が取れてるわけでは無かった。利用者の工賃向上については取引先であった企業様より新規受託作業を頂くことができ多少ではあるが貢献できた。

商品の、販売・展示・PRについては、昨年よりイベントへ参加する機会が減り、工賃向上へ貢献出来なかった。

年間売り上げは、取引先数が減少しただけでは無く、現存の取引先も納品回数の減少もあり、それを補う新たな取引先の確立が出来ず、一昨年度、昨年度と下がっている。

○参画施設及び年間売上

ワークキャンパス大鱈	3,057,980円
ワークショップ大鱈	1,447,410円
ワークランド茜	61,940円
月見野園	0円
月見野食房	13,900円
夢工房月見野	0円
いわきの里	0円
玄輝門	0円
エイブル	200,720円
MEGO	5,000円
青松園	0円
ワークセンターつばき	0円
ないすらいふ	65,390円
つがる野工房	0円
就労サポート弘前	59,840円
せせらぎの園	14,640円
サポートセンターさくら	3,000円
ワークセンターのれぞれ	0円
合 計	4,929,820円

○参加イベント

5月23日～	5月31日	大鰯温泉つつじまつり
6月6日～	7日	第50回まるごと大鰯商人市
6月20日		大鰯町健康まつり
7月26日		第51回まるごと大鰯商人市
10月24日～	25日	ケッパレ東北復興支援フェア(商人市同時開催)
11月12日		青森県社会福祉大会
11月21日		第10回アップルフェア
11月22日		第53回まるごと大鰯商人市
11月30日		第30回大鰯町社会福祉大会

※イベント参加回数 9回 延参加日数 19日間

○次年度への課題

平成27年度は、前年度よりイベントへの参加も減少傾向になり、工賃反映とはいかなかった。平成28年度は県からの助成を受け購入した移動販売車での宣伝力・認知度アップを図りたい。

イベントへの参加の際、出店テント内での製造販売（焼き物・揚げ物等）を模索し、集客や売上増に繋げたい。

販路拡大・製品紹介については県からの助言をふまえ方向性を確立していく。

参画施設間の流通や情報交換の手段を簡易的に行える体制づくり、ホームページ更新など情報発信源も強化し認知度に繋げたい。

〈IX〉 安全巡視（虐待防止委員会）

担当：佐藤直幸

○安全巡視実施日

実施日	担当者	実施内容
5 / 1 4	中平恵美・泉谷文子	法人事業所全部を訪問し 注意箇所を点検、事業会 議で報告し検討する。
7 / 1 6・7 / 2 5	山中司・鎌田健司	
1 0 / 2・1 0 / 1 4	植田善久・幸山稚子	
1 1 / 2 5	中畑幸・竹内友紀	
1 / 2 0～2 / 2 2	三上拓雄・飛嶋治輝	
3 / 2 0	山口美香・赤川咲子	

今年度は2ヶ月に1回、キャンパス・ショップより各1名ずつ選出し実施した。問題点として担当者同士の時間の調整、冬期間の点検実施時間帯の調整がうまくできなかった点があげられた。その他、前回実施したときの改善点がすぐ解決されない点も多数あった。注意箇所と思われる部分を速やかに改善するようにしたい。

○虐待防止委員会実施日

期間	実施日	担当者	実施内容
4月～5月	7 / 3	中平恵美・泉谷文子	虐待防止チェックリストを 法人職員全体に配布、集計 結果をまとめ虐待防止委員 会を実施、その結果を事業 会議に報告、問題点等の総 括を行い周知徹底する
6月～7月	8 / 2 0	山中司・鎌田健司	
8月～9月	1 0 / 3 1	植田善久・幸山稚子	
1 0月～1 1月	2 / 6	中畑幸・竹内友紀	
1 2月～1月	3 / 1 1	三上拓雄・飛嶋治輝	
2月～3月	5 / 1 8	山口美香・赤川咲子	

前年度の虐待事例を受け今年度より設置した。安全巡視を実施中、法人職員の利用者処遇を確認気づいた部分を報告、チェックリストを活用し現在どのような推移をたどっているかを様子観察した。年度当初に実施した時より虐待注意項目が大幅に減少、法人職員に周知されてきたように感じる、来年度はこの結果をうけ2ヶ月に1度実施したのを3ヶ月に1度に実施するようにしたい。